学校だより

巻東中

2026 第２号

令和８年５月２２日（金）

令和8年度生徒会スローガン 1

初志貫徹

「初志貫徹」とは初めに決めた目標を、困難にあっても最後までくじけずに貫き通すことです。このことから、全校生徒が物事を最後までやり抜くことを表しています。
令和8年度の生徒会本部ではこの「初志貫徹」をもとにして、一人一人が目標に向かって努力できるように活動を行います。
それぞれの専門委員会や各種の学校行事で「初志貫徹」の達成を目指しましょう。
全校生徒の皆さん、ご協力お願いします。

【今年度の重点目標】

1 東中生が誇れる学校作りを目指す
全校朝会や学年朝会で校歌を歌ったり、昼の放送で校歌を流したりと、校歌を身近に感じてもらえる活動を行います。校歌を通して私たちが誇れる学校をつくります。

2 全校生徒の意見を幅広く取り入れる
専門委員会の実施回数を増やし、専門委員長と三役による代議委員会でより良い学校作りについて検討します。専門委員会の活動には、一定の期間ごとに活動の目標を設けるので、積極的に意見を出し合い、全校でさらに良い学校を作っていきましょう。

生徒総会

５月２０日（水）に生徒総会が行われました。全校生徒がホールに集まり、意見交換を行いました。生徒会長の石髙　志朗さんは「巻東中学校をより良くするためには、皆さんの協力が必要です。今年度のスローガン初志貫徹を学校全体で意識し、これからの総会に臨んでください。」と宣言して始まりました。

今回の生徒総会は事前に各学級で学級討議を行い、論点をまとめていたためとてもスムーズな進行でした。





みんなの学び基地 STUDY-BASE（巻図書館）

地域サークル学習での提案を受けて、巻図書館で友達と相談しながら勉強できる場所を作っていただき、今年度も同様に開催していただけることになりました。年４回実施でテスト期間中に解放されます。今回は**５月２３日(土)・２４日(日)10:00～17:00** です。テスト勉強に利用してください。

放課後活動

本年度より部活動が地域移行となり、平日の 17：00～19：00 になります。これに伴い、放課後（15：45～）から地域クラブが始まるまでの時間を有効に活用できないかと考え、毎週火曜日と木曜日に様々な放課後活動（取り組み）を設定いたしました。教師が主導でどんなことをやるか事前に生徒に向けて告知し、希望者を集めて行っています。今後はテスト前の学習教室を予定しています。一部紹介します。



サッカー



格闘技



卓球



野球



美術



バレーボール

令和８年度　新潟市立巻東中学校教育ビジョン






教　育　目　標

心豊かな人　　**自ら学ぶ人**　　**挑戦する人**

【目指す生徒像】　**地域の担い手として人とつながり 自ら行動する生徒**

生きて働く資質・能力

共に生きる力　　**主体的に探究する力**　　**自分を高めようとする力**

重　点　項　目【支持的風土の醸成を基盤に】

特別支援教育を推進し、共生社会の基盤をつくります

子どもの姿

互いの個性や特性を受容し、自己コントロールできる子ども

手立て

○良好な人間関係づくりを進める（異学年交流含む）
○校内委員会の機能を活かした個別の教育支援計画の活用
○多様な人と触れ合う

評価項目基準

○自分は、クラスに居場所がある（生徒アンケート80%以上）
○一人一人の個性や特性を理解し、相手を思いやり、支える言葉がけができた（生徒アンケート90%）

言語活動を充実させた「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を行います

子どもの姿

言語活動を通して、自らの学びや成長を自覚しながら学習する子ども

手立て

○言語活動を充実させた授業実践を行い、深い学びを実現する
○一人一実践を行い、教職員の授業改善を図る
○資質・能力の育成に向け、ピクトグラムで具体的な学びを促す
※　新潟市授業づくりサポート

評価項目基準

○授業で言語活動に積極的に取り組んだ（生徒アンケート70%）
○単元を通して「言語活動」を取り入れた授業を意識して行った（教職員アンケート80%）

目標設定と振り返りを通して、「なりたい自分」に向け努力する態度を育てます

子どもの姿

自分に自信をもち、自己決定し自立した態度で生活する子ども

手立て

○進路指導を含め、様々な活動で自己決定場面を設定し、支援していく（レジリエンスの推進）
○目標設定と振り返りの実施（家庭学習の充実）

評価項目基準

○役割を果たし自信がついた（生徒アンケート85%）
○学習や生活のめあてをもって、毎日を過ごしている（生徒アンケート85%）

新潟市第４次多忙化解消行動計画～教職員 Well-Being の推進～

巻東中の取組　・校務のデジタル化、効率化　・出退勤時間の弾力的な運用
・学校行事の平日開催　・教職員のやりがいと成長を育む環境づくり